

## メキシコ及び米国等における新型インフルエンザの発生（第2報）

1. 29日、ベルギーインフルエンザ省庁間調整局は、ベルギーにおいて新たな感染疑いの事例が生じたというプレスリリースを次のとおり発出しました。

『29日17時からベルギー保健省において行われた記者会見において、ファン・ランスト調整局長は、前日に発覚した感染疑い例7件の内、4件は陰性であることを明らかにした。残りの3件については、引き続き検査中である。また、本日新たに4件の新たな事例が明らかとなり、今後検査が行われることとなる。

これらすべての事例が陰性であることが明らかとなれば、30日（木）の記者会見にてその旨公表する。仮に陽性の事例が発覚すれば、その前にもプレスリリースを発出する。』

（ベルギーインフルエンザHP <http://www.influenza.be/> ）

2. ヨーロッパでは、スペイン、イギリス、ドイツ、オーストリアで感染が確認されましたが、ベルギーにおいては、現在のところ、豚インフルエンザへの感染は確認されていませんが、日本外務省においては、以下の感染防止策を示していますのでお知らせします。

- （1）十分な水・食料の備蓄を行い、不要不急の外出は控える。
- （2）外出する際は人混みを避ける。また、咳やくしゃみ等による感染を防ぐため、マスクを着用する。
- （3）積極的に手洗いやうがいを行う。
- （4）ウイルスは粘膜を介して感染するので、うかつに目、鼻、口などの粘膜部分に手で触れない。
- （5）発熱や咳などインフルエンザと似た症状が見られた場合には、迷わず現地の医療機関の診療を受ける。

（ 厚 生 労 働 省  
HP <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html> ）

（ 外務省 HP <http://www.mofa.go.jp/mofaj/> ）

3. 豚インフルエンザは、通常のインフルエンザと同様に、咳やくしゃみによる飛沫感染によるものと考えられています。豚肉や豚肉の加工品を食べることによって経口感染するものではありません。

4. WHOは新型インフルエンザ警報フェーズ（6段階）を、フェーズ4（ヒト-ヒト感染が増加している）からフェーズ5（かなりの数のヒト-ヒト感染がある）に引き上げました。

（ WHO（世界保健機構）HP <http://www.who.int/en/> ）

